

管理事務所からのお知らせ

今年は、1月～2月は降雪が多く、3月初旬は比較的暖かな日が続きましたが、震災以降真冬並みの気温となり、3月末まで降雪がありました。4月に入り比較的暖かな日が続いています。

◎ 入荘時の点検について

震災後、ご使用にならなかった別荘がほとんどです。入荘の際は、建物細部の点検や給水管・器具等の破損に注意してください。不良箇所がある場合は管理事務所にご相談ください。

◎ 不審な業者にご注意ください

以前からお知らせしていますが、「測量や境界の承諾について」の往復はがきや「土地が高く売れるので造成しては」などの電話勧誘があるようですが、当社とは全く関係のない会社ですので、十分ご注意ください。

◎ 管理事務所の営業体制について

営業時間 8:30～17:30(年中無休) TEL 0287-69-0331(宿直日以外の夜間緊急時は転送電話にて対応)
宿直体制(緊急時対応) 金・土・日と祝日の前日、ゴールデンウィーク、お盆の期間、年末年始
(祝祭日前日につきましては宿直のない日もあります)

放射能測定結果

No.10X031380-5
平成23年3月28日

放射能測定結果報告書

黒磯観光開発株式会社 殿

放射性同位元素等使用許可番号
水保第176号

株式会社 三生研
本社：〒310-0763 茨城県水戸市壺町1044番地

平成23年 3月 25日ご依頼の以下の試料の測定結果についてご報告いたします。

1. 試料

試料名	第一機場オーバー管
採取場所	—
採取日時	2011/3/24 13:50
採取者	—

2. 測定日時
平成23年3月28日 0時59分

3. 測定結果

測定項目	測定結果	暫定規制値
放射性ヨウ素 (I-131)	検出されず	300Bq/kg*
放射性セシウム (Cs-134, 136, 137の総量)	検出されず	200Bq/kg

注記) 食安法0317第3号において100Bq/kgを超えるものは、乳幼児調整粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導されています。

検出下限値: 放射性ヨウ素 (20Bq/kg)、放射性セシウム (22Bq/kg)

*暫定規制値: 平成23年3月17日 厚生労働省医薬食品局食品安全部長 食安発0317第3号「放射能汚染された食品の取り扱いについて」
測定方法: 平成14年3月 厚生労働省医薬食品局保健部監視安全課発「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に準拠
前処理方法: 平成23年3月18日 厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課発「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に基づく検査における留意事項について

No.10X031380-4
平成23年3月28日

放射能測定結果報告書

黒磯観光開発株式会社 殿

放射性同位元素等使用許可番号
水保第176号

株式会社 三生研
本社：〒310-0763 茨城県水戸市壺町1044番地

平成23年 3月 25日ご依頼の以下の試料の測定結果についてご報告いたします。

1. 試料

試料名	高区配水池
採取場所	—
採取日時	2011/3/24 13:40
採取者	—

2. 測定日時
平成23年3月28日 0時28分

3. 測定結果

測定項目	測定結果	暫定規制値
放射性ヨウ素 (I-131)	検出されず	300Bq/kg*
放射性セシウム (Cs-134, 136, 137の総量)	検出されず	200Bq/kg

注記) 食安法0317第3号において100Bq/kgを超えるものは、乳幼児調整粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導されています。

検出下限値: 放射性ヨウ素 (20Bq/kg)、放射性セシウム (22Bq/kg)

*暫定規制値: 平成23年3月17日 厚生労働省医薬食品局食品安全部長 食安発0317第3号「放射能汚染された食品の取り扱いについて」
測定方法: 平成14年3月 厚生労働省医薬食品局保健部監視安全課発「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に準拠
前処理方法: 平成23年3月18日 厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課発「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に基づく検査における留意事項について

編集室より

2011年3月11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源に国内観測史上最大のM9.0の地震が発生しました。被災地のみなさんの心凍てつく体験に心からお見舞い申し上げます。

そんな渦中、一人でも多くの人を救いたいと、知り合いの医師がボランティアで石巻市に向き、そこで小学2年生の女の子と出会いました。「お母さんが、私を流されないようにと柱にしがっついてくれ、家の中にいた3カ月の弟を抱きかかえ、こっちに向かう途中、津波がきてお母さんと弟は流され、お父さんは車で皆を非難させようとして手を振っていたところ車ごと一緒に流されちゃったの。」自分の目の前で両親と弟が……。その子に医師がおにぎりを渡すと「ありがとう先生、でも先生も食べてないんでしょ、半分ずつ食べよう」といって骨折した手でおにぎりをくれました。この話を聞いて、この子の人を思う心に涙が止まりませんでした。

編集室ではオーナーの皆様から、「白笹だより」に掲載させていただく写真や絵画、詩歌、エッセイなどを募集しております。作品のジャンルは問いませんので、どうぞお気軽にお寄せください。ご応募お待ちしております。

編集発行
黒磯観光開発株式会社
本社・現地管理事務所

〒325-0111
栃木県那須塩原市板室字白湯山1173-31
☎ 0287(69)0331(代)

白笹だより

No.120

2011.4



大蛇尾川のヤシオツツジ

今回の写真は、大蛇尾川の春の訪れです。写真を撮るにもそこまでいくのが結構大変で、人の足跡がハッキリしていたのは最初のうちだけでした。

蛇尾川は、さびがわ又はじゃびがわとも呼ばれており、栃木県北部を流れる川で、大佐飛山(標高1908m)と日留賀岳(標高1849m)をそれぞれ水源とする大蛇尾川と小蛇尾川が那須塩原付近で合流して蛇尾川となります。長さ35km。那須野ヶ原を流れ大田原市で箒川に合流します。

箒川となる前の蛇尾川は、栃木県男鹿山塊を流れる川で、中流部は完全に伏流(水無川)していて、10km以上も地下を旅した水は、大田原市に入った頃に再び地表に現れ清流となって市内を流れていきます。一方、上流部は豊かな森をぬって、目の痛くなるような透き通った水の流れる溪です。この光景の素晴らしさは見た人しか味わえない感動ものです。深い谷底を美しい溪水の流れる大蛇尾の林道は、かなり高いところを歩いていて、溪までは300mぐらいいはありますが、途中から降りられる道はほとんど無く、溪流釣りを楽しまたい方は、ただひたすら1時間以上歩いて川に近づかなければなりません。しかし春先は川だけでなく林道にはたくさんの可愛い植物やヤシオツツジが咲いていて私達の目を楽しませてくれます。自然に向き合い、のんびり歩けばきっと心も癒されることでしょう。

白笹掲示板

東日本大震災により被害を受けられました皆様に、
心よりお見舞い申し上げます。

このたびの震災により甚大な被害が出ておりますが、当別荘地は、建物の倒壊・土砂崩れ等の大きな被害は出ておりません。建物内部の様子は把握出来ておりませんが、食器等の落下・破損、クロスのはび等の被害は有るようです。水道につきましても、多少の被害はありましたが、復旧しております。

なお、水道水への放射性物質の混入につきましては、3月24日に採水し分析の結果、検出されませんでしたのでご安心ください。（最後のページに分析表を掲載してあります）

「白笹だより」4月号の発行が震災により遅れましたことをお詫び申し上げます。

エンジョイしています。別荘ライフ



妹尾さん一家

今回は、「白笹に小さな家を建ててかれこれ25年。月曜日になるともう行きたくなくなってしまふ。家族や知り合いに何故そんなに那須が好きなのかと言われるがよく分からない。」とおっしゃる、さいたま市に住む妹尾さんに原稿をいただきました。

朝7時に浦和の自宅を出て岩槻から東北道に、羽生SAのドンクでクロワッサン、スタバでコーヒーをお持ち帰り、車の中で朝食をとりながらドライブ。黒磯板室ICで降りて(便利になったなー)青木の道の駅で産直野菜、戸田のスーパー池上さんで食料を調達してそのまま山に。夕方「蛭の湯」に行くまでどこに行くでもなく家の周りをウロウロ。おかあちゃんは『なんもしないのが最高!』と言って本当に何もしない。

はる・なつ・あき・ふゆ、どの季節もいいけれど特に冬がいい。

そこはもう云い様がないほど刺激的だ。すさまじい風、吹き付ける雪、恐ろしくて外に出られやしない。そんな中、水を入れる為に下に降りて行く時はもう決死隊の覚悟だ。部屋の中も全て凍りつき水抜きしたのに蛇口が回らない。お湯を捨てるのを忘れていたポットの中まで凍っていて融けるまで使えない。薪ストーブや石油ストーブを総動員して暖かくなるのを待つ。でも一転して青空が広がった時、そこはもう別世界だ。どこからキラキラと降りてくる粉雪は、まさにあの雪の結晶を見せてくれる。

スノーシューを履いておかあちゃんとの雪上散歩は本当に楽しい。グーグルアースで検索したら標高1013m。いつもの生活は標高14m。この差の体感が好きなかもしれない。

夏は5時半出発。羽生はまだ開店前なので通過、7時に大谷のドトールでジャーマンドックとコーヒー。8時には戸田のゴルフ練習場に。200ヤード先まで敷き詰めた芝生は手入れも良くここならではの環境だ。打席の一番端に夏の陽が差し込む頃切り上げて山に上がる。そこには去年の猛暑さえも忘れさせてくれる涼しさがある。

でもいつまで那須に通えるかな。そうだ、いつそのこと那須に住んでしまおうかな。高見沢牧場の回りもいいけれどちょっと寂しいから、戸田の萬歳楽さんの裏辺りがいいかも。仕事をやめたら夏は山の上、冬は下。いいなあ。子供達が幼かったころ、特に娘は食が細かったが那須に来るとよく食べた。

その娘も那須で結婚式をし新潟に嫁ぎ、時々磐越道を走ってやって来る。息子たちは孫を連れて来る。

春の連休や夏休みは11人全員集合、雑魚寝も楽しい。今年の夏はもう一人増える。

那須に行くのを決まっていたとは言わないおかあちゃんとまた今度の土曜日に行こう。

冬の白笹はいいですよ。でも必ずスタッドレスにはきかえてくださいね。それにしても、帰りの矢板の自然渋滞何とかならないかなあ。

那須で見られる山野草⑳ ショウジョウバカマ (猩々袴)

ショウジョウバカマは、花が紅紫色なのを猩々になぞらえ、根生葉の重なりが袴に似ていることから名付けられたとされる。ユリ科ショウジョウバカマ属の多年草。北海道、本州、四国まれに九州に分布し、やや湿った場所に生える。垂直分布が広く、人里近くの田んぼの畦道から高山帯の高層湿原まで生えている。

葉は放射状に根生し、やや革質で光沢がある。花茎はその中から出て高さは10~20cmだが、開花後さらに伸張し、50cmに達する。花の色は生育場所によって、淡紅色、紫色、白色と変化に富んでいる。花期は低山では3~4月であるが、高山では雪渓が溶けたあとの6~7月になる。なお、花被は花が終わった後もそのまま残り、色あせはするものの、咲いたときの姿を残しているの、夏に緑の花が咲いている、といった姿となる。

繁殖は種子のほか、葉の先にできる不定芽によっても殖えることができる。



▲ショウジョウバカマ

おいしい場所 お教えします

〈シェレンバウムの姉妹店〉

「NASUのラスク屋さん」

栃木県那須町高久乙594

Tel.0287-78-3309

営業時間 10:00~17:30

定休日 無休(日曜日も営業)

ラスクと言えば今話題の「NASUのラスク屋さん」。東北道那須ICより県道17号線を那須高原に向かって7分ほど進み、広谷地交差点を左折、約300m進むと左側に広い駐車場がある店舗が見えてきます。那須を代表するこのラスク屋さんは、材料はもちろんのこと、フランスパンからラスクを作ることにこだわり、歯ごたえのある「サクッ」「カリッ」とした食感を出すために、1本1本丁寧にフランスパンを焼き上げているとのこと。しっかりとしたラスクの歯ごたえだからこそ、この味が楽しめる。中でも人気の「こげパンだ」は、一口サイズのサイコロ状にカットしたこだわりの逸品だとか。この大きさがちょうど食べやすく、今までのラスクとは違う美味しさに大満足。焦がしバター風味の味がギュッと詰まった「こげパンだ」は第25回全国菓子大博覧会で金賞をいただいたというから美味しさ太鼓判。贈り物から普段いただくお菓子として幅広く愉しめそうです。お値段もちょっとした「おみやげ」に最適な価格。那須の香りをお知り合いにも届けたくなる広い店内はお



いしいにおいでいっぱい。一度食べたらクセになる品々にこれからのポカポカ陽気にドライブがてら出かけてみる価値がありますよ。

